



成隣だより

平成27年6月1日
第3号
昭島市立成隣小学校
校長 長野 基

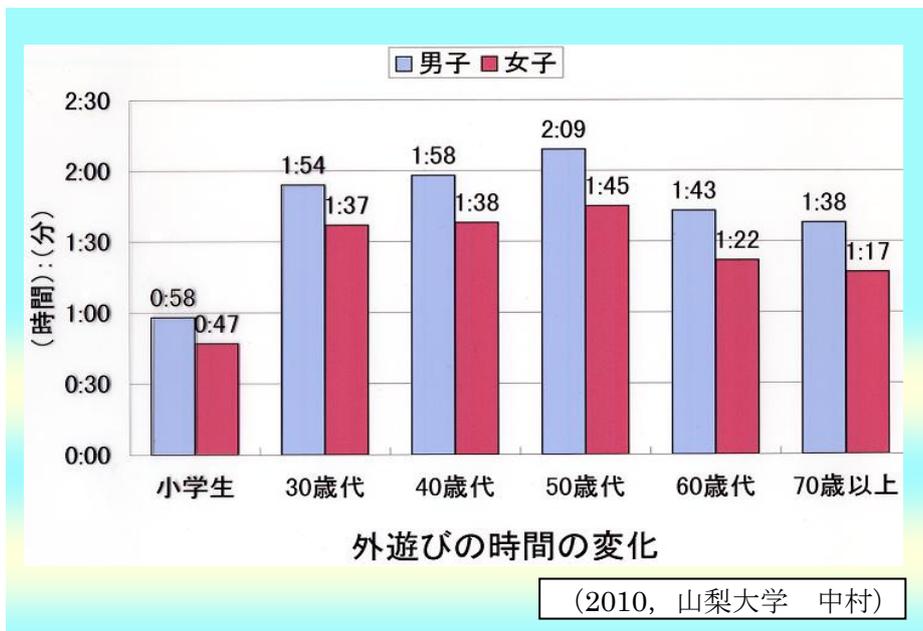
「遊びの時間」

副校長 眞砂野 裕

みなさんは子供の頃、どれくらい遊んでいましたか？

私は小学校3年生まで、他県の郊外で育ちました。「車を見に行く」という遊びがあったほどの田舎で、仲間たちは町のどこに自動販売機があるかすべて知っていましたし、日が暮れるまで野山や土手を駆け回る毎日でした。メンコや泥団子づくりに夢中になり、玄関には1年中虫取り網と虫かごが置いてあったように記憶しています。それだけに、東京に引っ越し、デパートにカブトムシが売っているのを目撃したときの衝撃は相当なものでした。思えば幸せな少年時代だったと思います。

保護者の皆様は、どれくらいの時間遊んでいましたか？



専門家の研究(2010, 山梨大学中村教授)によれば、現代の日本で最も遊び時間の多かった年代は50代(男子平均2時間9分、女子平均1時間45分)だそうです。以下、40代→30代→60代→70代とほぼ横並びで1時間20～40分前後の遊び時間を確保していました。ところが、現代の小学生になるとこの時間が激減(男子は平均58分、女子は平均47分)します。しかも、その内容も大きく変容し、野球・かくれん

ぼ・陣取り・缶蹴り(男子)・ゴム跳び・縄跳び(女子)などの運動遊びから、男女ともにメディアやゲーム機を使った遊びが上位を占めるようになります。

このような遊びの変化には3つの「間」、即ち<時間・空間・仲間>が関わっていると言われます。

子供たちは、遊びの中で多くのことを学びます。運動面(投げ方や蹴り方、素早い走り方や相手にかわす走り方など)からコミュニケーションのとり方まで、遊びの中で自ら(必要感をもって)学ぶのです。確かに今、物理的に子供が自由に遊べる時間や空間は減ってきています。ただ、昔はよかった・と悲観する必要はないはずです。換言すれば、今ある条件・環境でも子供たちに遊びの時間を返してあげることが大人の責任だと思うのです。

日暮れまでが子供の時間だった頃、逆に夜は子供が活動する時間ではありませんでした。当時、土曜の8時台に放映されていた人気のバラエティ番組では、番組最後にタレントさんが「歯磨いたか？」と、子供の時間が終わったことを全国に伝えました。9時以降は、子供にとって「眠る時間」だったはずです。今はどうでしょう？

子供たちは今、どれくらい遊んでいますか？